

2012年8月8日

ガルーダ・インドネシア航空

日本・韓国・中国・アメリカ地区 新総代表 就任記者会見を実施

TYOGA-19-AUGUST/8

ガルーダ・インドネシア航空会社 日本支社(所在地:東京都千代田区)は、2012年7月26日(木)、リスナンディ・サエプラハマンの日本・韓国・中国・アメリカ地区総代表の就任記者会見を実施しました。

リスナンディ・サエプラハマンは、1989年にガルーダ・インドネシア航空へ入社、2005年よりネットワークマネジメント部門副社長(Vice President Network Management)、2010年よりアジア地区総代表(Senior General Manager Area Asia)を経て、この度着任しました。会見では、日本を含むアジアマーケットの重要性を述べると共に、総代表就任の意気込みを語りました。

続いて、東京支店旅客営業部部長和田博之、及びマーケティング部部長児玉優子より、「ガルーダ・インドネシア航空の現状と今後の営業及びマーケティング戦略」について発表しました。

1) ガルーダ・インドネシア航空の現状について

■ 7月12日、スカイトラックス社より以下の賞を受賞

「The World's Best Regional Airline」「The Best Regional Airline in Asia」受賞

その他の部門でのランキングは以下の通り

「The World's Best Economy Class Airline」 第4位

「The World's Best Economy Airline Seats」 第4位

「The World's Best Airline Cabin Staff」 第8位

「The World's Best Airline」 第11位

2009年7月に発表した2015年をゴールとした「クアンタムリープ戦略」による取り組みが、一定の成果を上げているものと認識。今後とも、5スター認定を目指し努めていきたい。

■ 4月11日に、A330-300型機11機を発注

2015年までに、保有機材194機、平均機体年齢6年以下達成を目標

※参考: 2011年実績(保有機材87機、平均機体年齢6.5年)

2012年予定(保有機材105機、平均期待年齢5.8年)

■ 7月12日、イングランドプレミアリーグ「リバプールFC」と3年間のパートナーシップを結んだことを発表。<http://www.liverpoolfc.com/news/latest-news/garuda-indonesia-signs-with-lfc>

■ その他のインドネシア関連のトピックス

1. バリ島の水利システム「スバック」に基づいた文化的景観が、ユネスコ(UNESCO)の世界文化遺産に登録される。

2. 「ボロブドゥール寺院(インドネシア ジョグジャカルタ)の日の出」が、アメリカのニュース専門局CNNによる「死ぬまでに見たい27景(27 Places to see before you die)」にて、第1位に選出される。

3. 「バリ島」が、アメリカの旅行雑誌、TRAVEL + LEISURE誌によるWORLD'S BEST AWARDS Islands(島)部門第2位に選出される。

PRESS RELEASE

ガルダ・インドネシア航空 プレスリリース

2) 羽田便について

4月28日の羽田便就航以来順調に運航しており、沢山の皆様にご利用いただいている。現時点で、成田ージャカルタ、成田ーデンパサール(バリ島)、羽田ーデンパサール(バリ島)、関西ーデンパサール(バリ島)へ週26便運航を行っており、日本・インドネシア間を結ぶフリークエンシーリーダーの位置にいる。

3) 法人マーケットへの取り組み

2010年9月の成田ージャカルタ線就航以来、業務渡航者の獲得に力を入れてきた。本来、インドネシア到着後の空港で行われる入国審査手続きを、飛行中の機内で行う機内入国審査サービスは、業務渡航者に好評を得ている。

現在、全社を挙げて企業契約に取り組んでおり、ロイヤル・ダッチ・シェル等世界的企業とのグローバル契約を強化している。2011年度実績1,469社を、2015年には2,100社とすることを目指す。

4) インバウンドマーケット

インドネシアの経済成長による中間層の増加や、日本のサブカルチャーに興味を持つ若年層の広がりなどから、訪日観光マーケットは拡大傾向にあると思われる。インドネシアの主要旅行会社やメディアの招聘など今後とも積極的に取り組んでいきたい。9月に東京ビッグサイトで実施されるJATA旅博の商談会に参加するインドネシア旅行会社や、10月にジャカルタで実施されるJNTO主催の商談会への参加者の渡航支援も引き続き行っていきたい。9月23日より30日までの間、ジャカルタにて開催される「ジャカルタ日本祭り」にも、ガルダ・インドネシア航空として参加予定。成田ージャカルタ線は日系2社と合わせて3社が直行便を運航している。インバウンドマーケットは、この路線の需要を増やす有効なマーケットだと認識している。



7月26日(木) ザ ペニンシュラ東京にて記者会見する

日本・韓国・中国・アメリカ地区総代表

リスナンディ・サエブラハマン

<本リリースに関する問い合わせ>

ガルダ・インドネシア航空 マーケティング部 児玉・篠

【E-Mail】 tyock@garuda-indonesia.co.jp

<報道関係者からのお問い合わせ先>

ガルダ・インドネシア航空 PR 事務局 高島・與芝(株式会社プラチナム内)

【E-Mail】 garuda@vectorinc.co.jp 【電話】 03-5572-6073